

**モスクワおよび全ルーシの総主教キリルから  
ロシア正教会の主教品、司祭、修道者、諸ハリスティアニンへ宛てた  
復活祭に際しての挨拶**

**親愛なる主教品、誠実なる司祭・輔祭、敬虔なる修道士・修道女、愛する兄弟姉妹！**

喜びに満ちた心で、初代教会時代から続く常に新しい言葉で命を肯定する勝利のご挨拶を申し上げます。

**ハリストス復活！**

命を施すこの素晴らしいフレーズは私たちの信仰の基盤であり、希望の賜物や愛の源でもあります。

聖使徒たちと同じように、昨日まで私たちは愛する恩師の死を悲しんでいましたが、今日は目に見える世界、また、目に見えない世界と共に「永き楽しみなるハリストス起き給いに因る」と祝い歌います。(聖大パスハのカノン)。昨日までは救いの望みが失われたような気がしていましたが、今日は「神の国の暮れざる日に於いて」永遠の命を得られる確信が与えられました。昨日までは全ての創造物はこの世の存在自体の意味を絶滅させる腐敗の影に覆われていましたが、今日は私たちが死を滅ぼした命の偉大な勝利を祝い伝えます。

神・聖神<sup>o</sup>の恩寵を豊富に受けた聖使徒パウエルは復活の夜に起きた奇跡が私たちの信仰にとって絶大な意味をもっている、と言っています。聖パウエルは諸ハリスティアニンの心にある復活の夜についてこう書いています。「若しハリストス復活せざりしならば、我等の傳ふる所空しく、爾等の信も亦空し。」(コリント前書 15:14)。主のパスハはキリスト教の中心であり、その偉大な力でもあります。「パスハは望みを生み、愛を熱くし、祈りに翼を与え、恩寵を降し、知恵を光らせ、死とことごとくの災いを滅ぼし、命に生きる息を吹き込みます。復活においては今まで夢だった至福が実現し、影だった栄光が永久の光の稲妻として全世界を照らします。」(モスクワの成聖者フィラレト、1826年の復活祭の説教より)。

藉身した神の子が人類を贖い、罪と死の鎖を破り、人間に真実の霊的な自由や神・創造者との再会の喜びを与えた、と私たちは信じています。この確信はハリストスの復活への信仰と強く繋がっています。この救世主の賜物は、今日の光り輝く夜に正教会の聖堂に集まってきた私たちすべてのためのものです。聖金口イオアンが言ったように、今日、私たちは信仰の宴会を楽しみます。

パスハは苦難に満ちた救世主の道の到着地点です。この道の終わりは主の受難とゴルゴファでの犠牲の死です。ハリストスは「人間を救いに導く偉業者」と呼ばれることが聖師父の文献にも奉神礼にも数多くあります。主はその門徒たちに「我爾等に模範を與へたり」と言い、ご自分の行いの見本に従うよう導きました。(イオアンに因る福音書 13:15)。

私たちは救世主が定めた生き方の見本をどのように再現できるでしょうか？現代の生活の中ではどのような従順や偉業が可能でしょうか？現代人にとっては「偉業」という言葉が伝説の將軍または偉大な歴史的人物を思い起こさせることが多いでしょう。しか

し、栄光や人気を得ることは偉業の本来の意味ではありません。内面的な努力や節制を含む偉業は完全な真実の愛を実感させるものです。なぜなら、偉業の基盤にある忍耐は愛の最高の表現であるからです。

主は私たちを行動に現れる愛の偉業へと導いています。これは苦しむ者、病と戦う者、孤独な者、悩む者をはじめ、すべての人のよき隣人となることです。この戒めはハリストスの地上での生き方にとっても明確に現れています。多くの人間がこの掟に従うようになれば、人類はまことの幸福を手に入れられます。なぜなら、隣人に奉仕することによって、与えるものより得ることのほうがはるかに多いからです。奉仕する人の心にハリストスが入り、神の恩寵の働きによって生き方そのものが改められます。努力なしで聖人にはなれません。ゴルゴファの受難なしで復活はありません。それと同様に従順や偉業なしでまことの霊的な変化や成長は考えられません。

偉業は個人の行動から一つの民族または国を団結させるレベルまで広まり、母国、あるいは道徳的な価値や理想を守る時に至高きものを目指す数百万人の心が一つになると、論理的な説明ができないような奇跡が起こり得るのです。強い信仰と勇氣に結ばれた民には、どんな敵にも苦難にも勝る壮大な力が与えられます。この団結と力が大祖国戦争でナチスに勝利を収めたソ連の人々の偉業的な戦いに現れていました。今年は人類に悪をもたらしたナチスの敗北と終戦 70 周年を祝う行事が行われます。

苦難や誘惑に襲われた時に私たちは勇氣を振り絞り、冷静でいなければなりません。なぜなら、ハリストティアニンには義の勝利と悪の敗北についての偉大な約束が与えられているからです。悩んだり、失望したりする理由はどこにありますか？私たちは全員でハリストスの教会を構成し、その教会には「地獄の門は勝たざらん。」(マトフエイに因る福音書 16:18)。私たち信徒については神の啓示に告げられています。「神は彼等の目より凡その涙を拭はん、死はまた有らざらん、悲哀（かなしみ）も、號泣（さけび）も、疾痛（いたみ）も、また有らざらん、蓋前の事はされり。」(黙示録 21:3~4)。

親愛なる主教たち、誠実なる司祭・輔祭、愛する兄弟姉妹に神<sup>o</sup> の力、揺るぎない信仰、平安、そして死を踏み潰した主の復活の喜びがありますよう、お祈り申し上げます。ハリストスの復活の光を受け、パスハの奇跡の神秘に加わりながら、私たちの勝利の喜びを隣人にも他人にも分け合い、墓から起き上がった救世主の福音を全世界に伝えていきましょう。

私たちの人生を通じて信仰の熱意に満ちた次のパスハの挨拶が皆さんの心を温め、慰め、生きる喜びを与え、良い行いや施しに導きますようにお祈り申し上げます。

**ハリストス復活！  
実にハリストス復活！**

**モスクワ及び全ルーシの総主教  
キリル**

モスクワにて  
ハリストスのパスハ 2015 年